

この座談会の背景

解説

有線のはじまり
 南国市農事放送農業協同組合（現組合長「宮寛」）は、昭和三十七年五月、市の南部地区を中心に加入戸数千五百戸で発足。つづいて北部地区が完成。三十九年十一月には、加入戸数四千七百戸という県下一のマンモス有線放送局が誕生した。これは、市の総世帯数の四〇割にあたるもので、市民の連絡、通信機関としては画期的な施設の完成であった。

農集電話との分離

その後、全国的に交換手のない自動化（ダイヤル式）がすすめられ、組合でも四十二年六月の免許更新を機会に、全面自動化の計画がたてられた。

ところが、新機種の選定や電電公社の農村集団電話（農集）の問題がもたらがり、北部地区の理事が辞退するという非常事態が発生。市が中に入って「将来、有線を市営化する」などの意見調整をしたがまとまらなかった。

結局、約一年半の話し合いのあと、四十三年四月自動化にとりかかり、総事業費一億二千万円で、局舎および三千四百戸収容できる自動交換機を設置、四十四年四月一日から切り替えられた。このときには、四千七百戸あつ

た加入戸数が、農集電話に流れた約一千六百戸をのぞき、三千七百十三戸となったのである。

公社電話の普及

ところが、最近になって電電公社の電話が、数年前にくらべて非常につきやすくなったことなどから、公社電話に切り替えるものが増えてきており、ことし三月末現在の加入戸数は、二千九百四十五戸と、この三年間で二百二十八戸も減少することになってきた。

なぜ公社電話に有線放送の魅力は

公社電話は、ことし三月末現在南国局で加入者数五千四百六十八戸（大津局管内の岡豊町の一部、明見を除く）。この内訳は、一般電話三千四百七十九戸、農集電話千九百三十七戸、になっていく。

これは昨年の同期にくらべて七百六十九戸の増で、最近ますます急増の傾向にあります。

公社電話は、有線放送にくらべて、架設のためには、債券十三万円、工事費五万円、加入料三百円が必要であつて、経済的な負担は

有線の比ではない。しかし、このような急増の原因は、いままでは一般家庭では、ぜいたく品であつたものが、市内外の交流、情報の交換、県外へ就職、進学したこともとの交通など、日常の必需品として普及したこと。

片山分室（四十二年五月）国府分室（四十四年十月）および南国局の局番の増など、収容能力が多くなった。このため数年前では、加入の申し込みをして、二、三年もかかっていたものが、最近ではおよそ事務用四カ月、住宅用十一

カ月でつくようになったことが拍車をかけているようだ。公社では、こうした需要者のために、ホームテレフォン、ボタン電話、ポケットベル、留守番電話など、いろいろ新しいアイデアを企画して普及につとめている。

脱有線の防止策

こうしたなかで有線の組合ではことしの総会で「公社電話に加入しても有線電話をやめない」というとりきめがなされた。

その背景には、四十四年、自動化に切り替えたとき、一戸当りの工事費が三万三千円かかった。ところが、一度に組合員からもらつたことは過重負担になるところから、とりあえず一万円を負担してもらい、残りの二万三千円については、聴取料のなかから順次解消する方法をとつた。つまり、二万三千円を積算した七千万円を借り入れし、十年間の割り払いとしたのである。

特色ある有線電話

放送が主体であつた有線が、放送はやめてくれというところまで来た。それは、公社電話の普及にみるように、情報化社会の必需品として、迅速な情報交換が望まれるようになってきたところにもあろう。しかし、沈滞ムードの有線に、カツを入れていく組合員の声もうけとれないだろうか。

要は、有線放送のもつ最大の利点を、どのように生かしていくにかかっているようだ。そういった意味で、市民ともに考えてみる必要があるのではないだろうか。



若い人の意見やアイデアを――稲作転換について取材する寺川さん

基本料金は無料

◆……公社電話は、かけても、かけなくても基本料金がいらすが有線はどんなにしていますか。

また、他の市町村の手数料との比較はどうでしょう。
 ▼ 公社では、営業用千円、住宅用七百円です。有線は公社接続の回線が十五本ありまして、一本当り千二百円かかっています。この基本料金は有線本部から支払いをし、組合員には全然負担をかけていません。

▼ 接続の手数料は、春野町二十円、土佐山田町、野市町などは十

九割が市町村、農協経営

円です。別に規定はなく、それぞれの実状にあつた料金です。

▼ 聴取料八百円は、少し高いものになっていきます。これは借入金返済分が含まれているためです。他の市町村の場合、南国市のように単独の組合でなく、大多数のものが市町村または農協が施

設や運営の経費を負担していますので、聴取料が安くても運営できるわけです。

将来は農協経営

◆ 農事放送とはいいながら、市の特殊性からして公共施設としての性格が強いと思いませんか。他の市町村の経営の形態や助成などは……。

▼ 県下の有線放送施設は、全市町村の半分近い二十一の市町村にあります。このうち、市町村で経営するのは、土佐山田町、春野町など七カ所、農協経営が十二カ所、そして独自の経営が、南国市と野市町の二カ所になっています。
 ▼ 四十六年の総会では、市が当然やるべきだ、という議決をしま

どう生かす特色

▼ 公社電話の普及は、結構なことです。しかし、これが普及しても、なおかつ有線をもつていたいというところにならなければいけないと思いませんか。

そのためには、住民の生活に密着した魅力のある有線であればならん。市民の電話であるので、あたたかい血のかよつたものとして、みんなが利用できるような工夫をお願いしたいのです。

▼ 近所から「有線をもつちゃあんきわからんが、どんなことをいよいよたぞのう」と聞きにくるぐらいになつたら、加入者の減る心配はないですね。

名前も「電話」でなしに「有線放送」ですが、みんなが聞きたいこと、知りたいことをタイミングよくやってほしいものです。
 ▼ そのことが大切ですね。私は前に有線をもつていましたが、なくなつていけばさびしくなつたのは火災のときです。
 ▼ 「どろが火事だ」という放送は、夜中でもないでも放送するようになっています。

そのほか、交通事故などで緊急に必要な献血の呼びかけ、修学旅行で無事この旅館に着いたというお知らせ、天候のはつきりしないときの運動会などの催しものなど有線できなくてはできないものにとりあげていきたいと思つています。
 ▼ 放送で一番人気のあるのは、選挙即報ですね。

それから、ある地区で盗難事件があつて「犯人が、どの辺に潜伏しているもよう」という放送は喜ばれました。
 ▼ 夜十時の「おやすみ放送」もいいですね。
 ▼ 「ああ、今日一日が終つた」という印象をうけます。

▼ 市民のみんなに知ってもらいたいが、有線をもつていない人にだけしかわからないのが残念だ、と思うことがたくさんあります。みんなの人にもつてもらえ、と、つくづく思つています。



ウワサの有線を語る

有線ならではの放送

自主番組の再編成を

有線放送ははじまって、こととして十年になりました。むかしのことばで、十年一昔、といわれます。有線の性能、有線をとりまく通信機関、住民の要望や社会環境など、時代の流れは、はげしいものがあります。こうしたなかで、有線放送の原点にたちかえって、将来のあり方を考える時期にきているともいえます。では、有線の現状と問題点、これからのあり方は……。

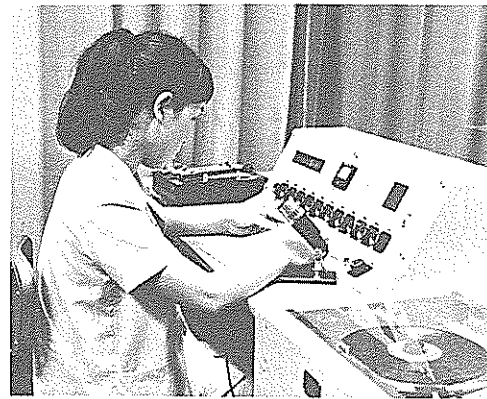
借金の真相は……

田園都市、南園市において、有線放送は重要な施設です。今後どのようないき方をすべきであるか。市民とともに考えてみたいと思います。

話された人たち

順不同

- 中沢芳寛(福生) 岩目雅男(長岡) 中沢一男(日章) 北村謙(二十市)
- 《有線》三宮 寛、北岡 博、寺川梅子、川村芳恵
- 《広報委員》山本尚一、山崎俊雄、岡崎俊一、浜田弥芳、東村達夫



若者の意見を

放送番組も単なる告知板、だけでなく、魅力のある自主番組をつくる必要があるとすね。ここで、みなさんのアイデアをいただきたいと思いましたが……

▼ 学校放送を面白く聞いている。小中学校、保育の先生から、いろいろ意見を出してもらって各部門にかけて放送してはどうでしょう。

▼ 台風などの緊急放送は、ラジオ、テレビの普及で必要性が少なくなったでしょうが、冬の強風注意報、急な気温の変化(あすの

身近かな放送番組

朝は、急に冷えるので、苗しろに水をほるように。浸水するときの注意や交通情報など、とり入れてほしいですね。

▼ 毎月発行される広報に「こんなことがついでに……」というのはどうでしょう。より以上、関心を持ってみたいですね。

▼ 十時の「おやすみ放送」には市民からのリクエストで、流行歌を流しては……。

北島三郎のドロメまつり、南園市の歌や南園おどりなどもよいと思います。

▼ 自主番組のなかへ、地元の人をもつてみてくれると思いますが、市民からのリクエストで、流行歌を流しては……。

▼ 若い人に歌をうたってもらったほうが、放送したい人を募集してやってみようなどは面白いと思いませんか。

▼ 自主番組のなかへ、地元の人

番組の時間表

曜日	朝 6:30	昼 12:30	夕 7:30	冬 6:30	夜 10:00
日	休日当番医	休日当番医	市民の声	おやすみ	おやすみ
月	学校だより	社 会	県内外の市況	おやすみ	おやすみ
火	農 事	学校だより	県内外の市況	おやすみ	おやすみ
水	教育相談	農 事	県内外の市況	おやすみ	おやすみ
木	生活改善	教育相談	県内外の市況	おやすみ	おやすみ
金	農 事	生活改善	県内外の市況	おやすみ	おやすみ
土	教育ニュース	農 事	休日当番医	おやすみ	おやすみ

自分の組合意識

みなさんの組合員が、おれたちの組合である、という感じをもつてくれるように、心と心のつながりをとり入れたいと思います。

▼ 有線放送でなければならぬ、公社とはちがうところ、農民にとって、生活とよりかはせない、きわめて重要であることをPRして、世論をバックに、行政なり、農協へきりこんでいく必要がありそうです。

▼ まったく同感です。その第一着手が、放送内容の改善だと思っています。そして、住民に密着した内容のものに切り替えていかなければと思っています。

そのため、組合員をはじめ市民のみなさんの絶大な支援、ご協力をお願いしたいと思います。

▼ まだまだ、話もつきません。けながら、よりよい有線の運営がなされることを期待して終ります。

はじめに、有線は借金もつれで倒産するのではないかとウワサが流れているようですが……。

▼ 昭和四十四年に自動化に切り替えました。

そのとき、一戸当り三万三千元の経費がかかったわけですが、組合員から一度に出していただくのは大変だろう、ということで施設資金として一万円を負担してもらい、残りの二万三千元を二十一人の理事の連帯責任で農林中央金庫から借り入れました。

この金額が七千万円あり、十年計画で償還しているわけです。支払いには、聴取料一カ月八百円のうち二百円をあてていますが、順調にすすんでおり、現在の残高は四千八百万円になっています。

▼ 収支の決算報告や運営状況、加入者数などは、毎年郵政省電波管理局へ報告しています。

ことし三月十五日には、五年に一回行なわれる郵政省の監査があつて、機械器具、外線などの性能経理の状況などの監査を受けましたが、正常な運営を保證され、そ

運営の大きな柱

- ① 正常な運営がされていることを聞きまして安心しました。
- ② ききたい放送を流すこと。そのためには、放送審議会をつくり、その中に小委員会をつくらせて各機関のチエをかりて改善につとめる。
- ③ 交換は親切であること。公社電話との接続をできるだけ早くする。やむを得ないときは「おまたせしました」という親切心であたる。
- ④ 正直に公社電話がついたから、有線をやめたいという人が、ほつほつできています。有線が組合員の上にあぐらをかいてはいけません、ということ、次の三つのことを大きな柱にしています。

事故・事件 110番

火災・救急 119番

放送しているとき……そのまま110番、または119番をダイヤルしてください。

話し中のとき……電話の前の白ボタンを押したまま「火災ですから受話器をおいてください」といって、受話器をおいてもらってから、ダイヤルしてください。

③ その日の故障は、その日に処理すること。

不慣れた公社接続

有線は農事放送が主体で、電話は従としてしまったものと思います。ところが時代の流れで電話としての活用がほとんどになっけています。その辺にいろいろ公社電話との比較が起つてきていると思いが……。

▼ 不便は公社接続が少ないこと
加入者三千戸の中で、接続回線は十五本。このうち発信八本、受信七本となっています。大量の資金を投入して回線をふやせば解決しますが、公社のよう

に十数万円の出資金を資金運用できる場合はいいのですが、有線は一万円の出資金と聴取料でまかなっているわけです。

▼ 有線は県外通話ができなく、日本有線放送協会連合会でも大きな問題としてとりあげ、法の改正にあたっています。

▼ 自由にかげられるというのもある面では考えものです。

最近のことは、電話のかけ方も、よく知っているので、勝手に県外へかけて、随分無駄な通話料をはらっているようです。

▼ お金はいくらかかってもいいことになれば、公社電話にはかたやしません。しかし、最低の経費で、だれもが加入できるという客

細なものから出発をしているわけ……。

▼ 有線に対する理解が十分でないと思えますね。

農家にとっては、軽四輪自動車

公社接続、一日七百回

は必要だが、乗用車はどうしてもというわけではありません。軽四の必要性を重視され、乗用車を買っても、軽四は廃車にしないようにしたいものです。

使用時間が集中

ほとんどの加入者が農家の

人であるところから、使用する時間がみんな同じになるということはないですか。

一日に公社との接続は、どのくらいあるものでしょう。

▼ 有線から公社へかける場合は一日三百〜三百五十回、公社から有線へかかってくるものは記録がありませんが、ほぼ同じぐらいみますと一日七百回ということになります。

この七百回が朝、昼、晩の休息のときに集中するわけで、○番をまわしてもなかなか出にくいということになるわけです。とくに夜の七時から九時までの時間帯が一番多くあります。

▼ 夜、七時三〇分ごろ、○番をまわしたが、二〇分ぐらい話中……。何事だろうと思つて有線本部まで車でやってみると、三人の交換手が汗水たらしてやっている。それを見たと、ふりあげたコプシのおろしどころに困ったものです。

安価なつかい方

交換手の職務怠慢ではない

ということですが、みんなが集中する時間帯をさけて、上手にかけることが大切ですね。

▼ 聴取料八百円。深夜料金(午後十時から翌朝五時三〇分まで)五十円。公社接続の手数料は、市外十円、市内五円。公社からかかってきたときは、市内は無料ですが、市外の場合は十円もらつてい

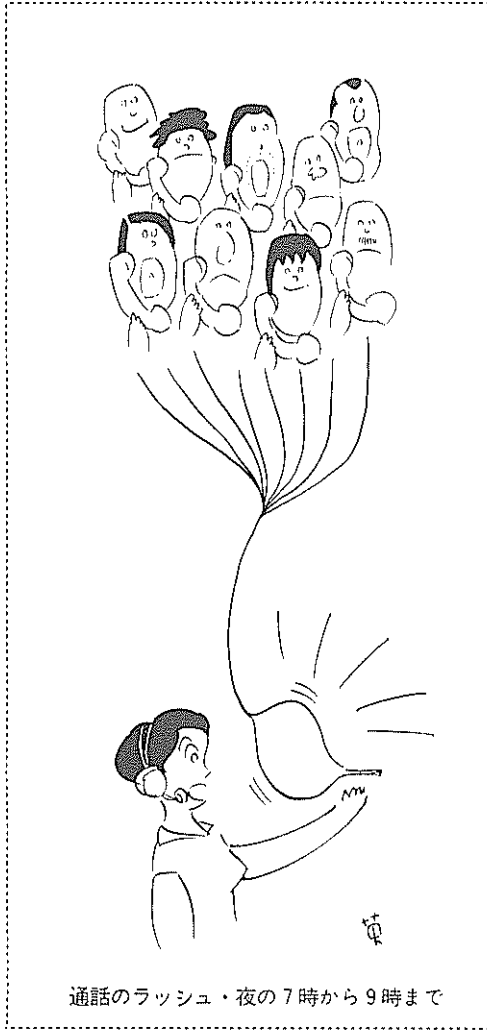
ます。

▼ 有線から公社へかけるとき、かえつて安い料金でかけられるというのを聞いていますか……。

▼ 商売をされている人で、とても研究熱心な人がいますね。

例えば、高知市へかける場合、三分以内十八円、一分増すことに六円。有線は十二円、一分増すことに四円かかります。

これは、有線電話にかぎり電気通信法で特殊な料金が決められているからです。だから接続の手数料(十円)を含めても、三分以内では二十二円でかけられます。十分間ですと、公社では六十円、有線では五十円という差がでてきます。そのため接続手数料を払つても安くかけられることになりません。それはいいことを聞きました。しかし、長電話はあまり感心しないし、朝、昼、晩のラッシュは、さげなければなりませんね。



通話のラッシュ・夜の7時から9時まで